



◎作品を手に笑顔を見せるパッチワークの会のみなさん

キラリ 金山びと

| No. 9 |



自由気ままにみんなで作品作り——

金山町パッチワークの会

金山町パッチワークの会（岸昭子会長）は8人のメンバーが月2回ほど集まって活動しています。パッチワークとは、さまざまな布を組み合わせ、縫い合わせて、自分だけの作品を作ること。「上手、下手は関係ない。縫ったり作ったりすることが好きな人達が集まって自由に作っている」と岸会長は話します。

作品の基になるのは、古布の他、着なくなった浴衣や着物などの和布を洗い、乾かしてアイロンをかけ、ほどこいたもの。さまざまな色、柄の布をどう作品に利用するかを考えて作るのが制作の醍醐味だそう。皆さんが手掛けたバックやポーチ、小物など、その全てに温かみを感じられます。「誰かに売ったりするわけじゃないから、自分の好きなように作っている。時間がかかるけれど、出来上がった時はとても嬉しい」と作品の工夫したところを教えてくださいました。また、「月2回の活動じゃ足りないくらい。家で一人でできるけど、ここに来て作ることに意味がある。作品を作りながら悩むこともあるけれど、みんなに相談しながら作っている」と時間を忘れて夢中になってしまうの」とメンバーの皆さんが笑いながら話します。

パッチワークの会の皆さんが作った作品は、11月7日まで中央公民館で展示しています。その後、マルコの蔵でも展示を行う予定です。「この会に誘ってもらって本当に良かった。みんなと顔を合せて話しながらできるのが一番の楽しみ」と、笑顔で話す皆さんの作品は、可愛らしく、愛情が込められたものばかり。素敵な作品が並ぶ展示会にどうぞ足を運んでみてはいかがでしょうか。

編集 後記

▼町政NEWSに掲載したグリーンベルトの写真を撮りにきこる橋に行った時のこと。下校時間の小学生に「ねえ見て!」と言われ振り返ったけれど何もない。「えっ?」と驚く私に「ほら虹だよ!早く撮って!」と子どもたち。見上げると金山川に綺麗な虹が架かっていた。虹に大喜びの子どもたちを見ることができ嬉しくなりました。と、同時に顔を上げて、素敵な風景の移り変わりを見逃さないように過ごしていきたいなと心から感じた日となりました。

金山町の人口は、5,139人（9月末現在）

	男性	2,520人（-3）
	女性	2,619人（-5）
	世帯数	1,742世帯

▼9月の異動	
出生	0人
死亡	4人
転入	3人
転出	7人